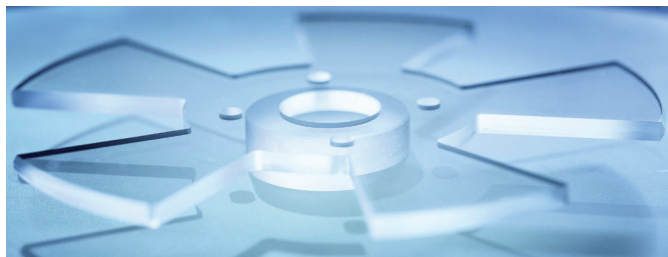


TEMPAX Float® – 光学的特性

優れた特性の和がもたらす独自性

ドイツで製造されたTEMPAX Float®は、世界で初めてフロート製法によって作られたホウケイ酸ガラスです。熱的、光学的、化学的、機械的に卓越した特性と優れた平坦度を有する高品質なガラスです。TEMPAX Float®の化学組成と物理的特性はDIN ISO 3585およびEN 1748 T1に準拠しています。TEMPAX Float®を再発見し、最も汎用性の高いガラス素材の無限の可能性を経験してください。TEMPAX Float®ークオリティーによるひらめき



TEMPAX Float®製光学ホイール

光学屈折率

波長 λ (nm)	屈折率 n
435.8	1.48015
479.9	1.47676 (n_F)
546.1	1.47311 (n_e)
589.3	1.47133
643.8	1.46953 (n_C)
656.3	1.46916

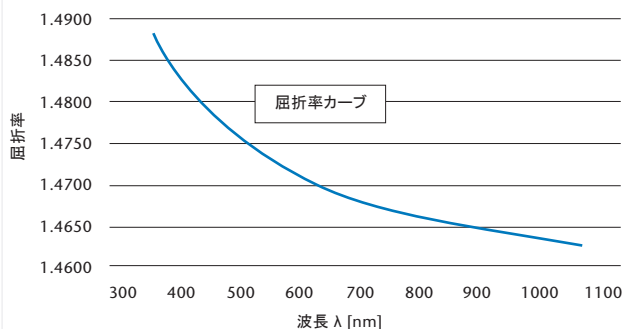
参考値(保証値ではありません)

光学データ

アッベ数 ($v_e = (n_e - 1) / (n_F - n_C)$)	65.41
屈折率 ($n_d (\lambda_{587.6 \text{ nm}})$)	1.47140
分散 ($n_F - n_C$)	71.4×10^{-4}
光弾性定数 (K)	$4.0 \times 10^{-6} \text{ mm}^2 \text{ N}^{-1}$

参考値(保証値ではありません)

分散

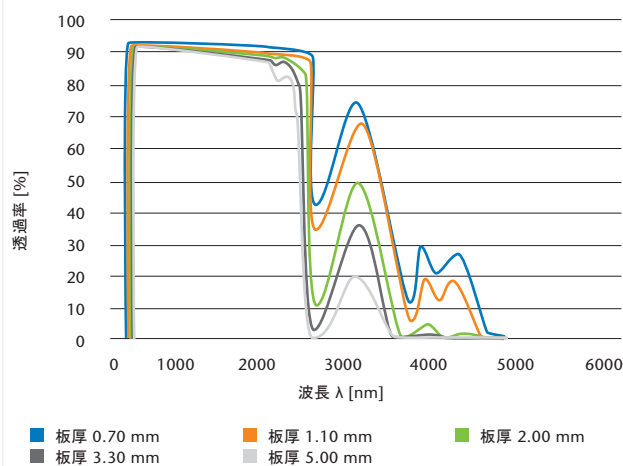


主な特長:

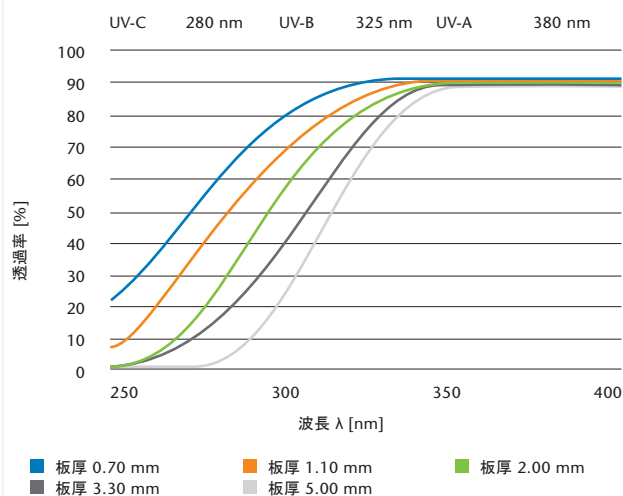
並はずれて高い透過性

- 可視光、近赤外および近紫外の波長領域における高い透過率
- 卓越した外観と光学的透明度
- 蛍光発光性が弱く、ソラリゼーションしにくい

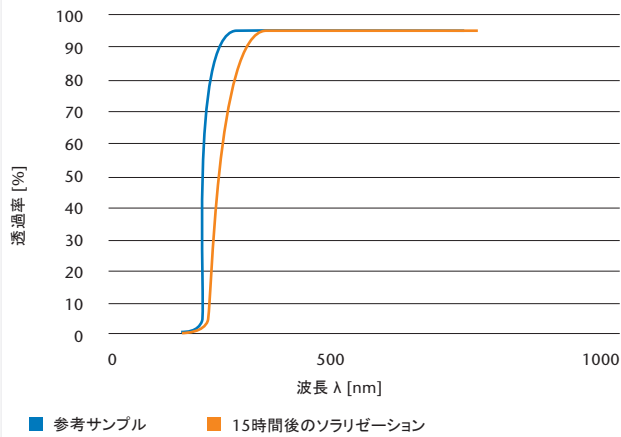
透過率



UV領域における透過率

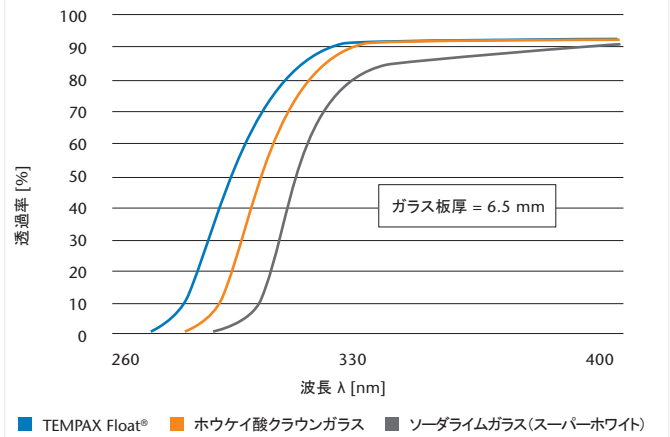


ソラリゼーション



30×15×1mmサイズのガラスサンプルを、放射強度850 W/cm²、主波長365nmの高圧水銀灯HOK4/120で照射。

透過率



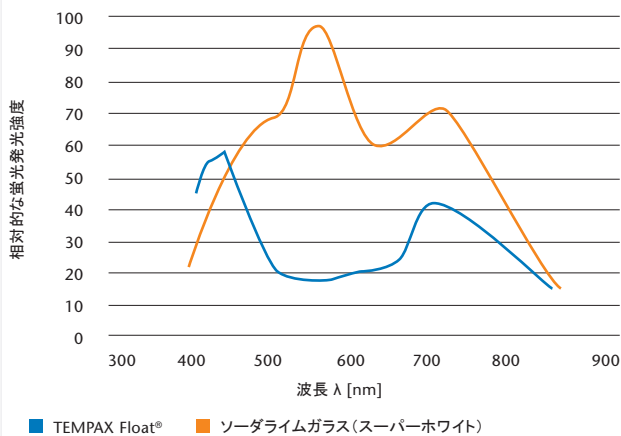
ホウケイ酸クラウンガラス、ソーダライムガラス(スーパーホワイト)と比較したTEMPAX Float®の透過率

TEMPAX Float®の蛍光発光特性

高エネルギー放射線で活性化されることによって電磁放射線を発する物質があります。この特性は蛍光発光特性と呼ばれています。蛍光発光特性は物質の純度、構造特性、放射線の励起エネルギーや励起波長に依存します。

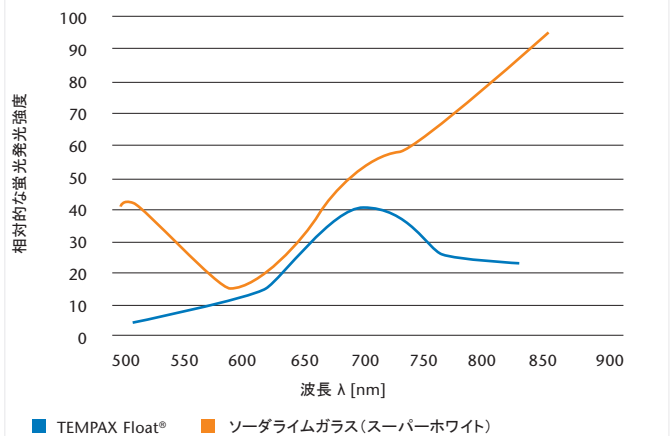
TEMPAX Float®は透明度の高いガラスで、ソーダライムガラスに比べ格段に弱い蛍光発光特性を示します。

励起波長365nmにおける蛍光発光特性



励起波長365nmにおけるTEMPAX Float®とソーダライムガラスの蛍光発光特性

励起波長488nmにおける蛍光発光特性



励起波長488nmにおけるTEMPAX Float®とソーダライムガラスの蛍光発光特性

その他のデータや情報はお問い合わせください。

シュott日本株式会社
〒160-0004
東京都新宿区四谷4-16-3(9階)
電話: 03-5366-2491
Fax: 03-5366-2481
E-mail: sn.info@schott.com
www.schott.com/japan

SCHOTT
glass made of ideas